

1. 年齢調整

千葉県では、今後、老年人口が増加し、年少人口、生産年齢人口が減少するという年齢構成が変化していく。そこで、この年齢構成の変化の影響を除去するために、基準人口（平成 27 年モデル人口）の年齢分布と同じ分布にした場合の罹患率、死亡率などを計算するための方法である「年齢調整」を用いた。「年齢調整」を用いることにより、異なる年の罹患率、死亡率などの状況を比較することができる。

次に記載の各項目については、国が「健康日本 2 1（第三次）」で、年齢調整を行った値をベースライン値（計画開始時の値）として定めている。

これを受け、県が策定した「健康ちば 2 1（第 3 次）」においても、「生活習慣に関するアンケート調査」で取得したデータを「年齢調整」した。

なお、「年齢調整」の算定方法は「3. 基準人口（イ）年齢調整計算式」に基づく。

2. 年齢調整該当項目

No.	項目
	詳細
	算定方法
1	20～30 歳代女性のやせの者の割合
	やせ ⇒BMI 値が 18.5 未満。 (BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) × 身長 (m))
	20～39 歳までの 5 歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
2	20～64 歳男性の運動習慣者の割合
	1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。
	20～64 歳までの 5 歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
3	20～64 歳女性の運動習慣者の割合
	1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。
	20～64 歳までの 5 歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
4	65 歳以上の男性の運動習慣者の割合
	1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。
	65 歳以上の 5 歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
5	65 歳以上の女性の運動習慣者の割合
	1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。
	65 歳以上の 5 歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
6	20～59 歳の男性及び女性のうち、睡眠で休養がとれている者の割合
	毎日の睡眠で休養が「十分とれている」又は「まあとれている」と回答した者の割合。
	20～59 歳までの 5 歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。

No.	項目
	詳細
	算定方法
7	60歳以上の男性及び女性のうち、睡眠で休養がとれている者の割合
	毎日の睡眠で休養が「十分とれている」又は「まあとれている」と回答した者の割合。
	60歳以上の5歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
8	20～59歳の男性及び女性のうち、睡眠時間が十分に確保できている者の割合
	睡眠時間が6～9時間。
	20～59歳までの5歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
9	60歳以上の男性及び女性のうち、睡眠時間が十分に確保できている者の割合
	睡眠時間が6～8時間。
	60歳以上の5歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。
10	50歳以上の男性及び女性のうち、咀嚼良好者の割合
	ものをかんで食べる時の状態が「何でもかんで食べることができる」と回答した者の割合。
	50歳以上の5歳刻みの基準人口を用いて年齢調整を行う。

3. 年齢調整該当項目

平成27年モデル人口

(ア) 年齢階級人口

年齢	基準人口 (人)
0歳	978,000
1～4歳	4,048,000
5～9歳	5,369,000
10～14歳	5,711,000
15～19歳	6,053,000
20～24歳	6,396,000
25～29歳	6,738,000
30～34歳	7,081,000
35～39歳	7,423,000
40～44歳	7,766,000
45～49歳	8,108,000
50～54歳	8,451,000
55～59歳	8,793,000
60～64歳	9,135,000
65～69歳	9,246,000
70～74歳	7,892,000
75～79歳	6,306,000
80～84歳	4,720,000
85～89歳	3,134,000
90～94歳	1,548,000
95歳以上	423,000
総数	125,319,000

(イ) 年齢調整計算式

(例) 20～30歳代女性のやせの者の割合 (年齢調整) (%)

$$\frac{
 \begin{aligned}
 &20\sim24\text{歳のやせの割合} \times 6,396,000\text{人 (20}\sim\text{24歳基準人口)} + 25\sim29\text{歳のやせの割合} \times 6,738,000\text{人 (25}\sim\text{29歳基準人口)} \\
 &+ 30\sim34\text{歳のやせの割合} \times 7,081,000\text{人 (30}\sim\text{34歳基準人口)} + 35\sim39\text{歳のやせの割合} \times 7,423,000\text{人 (35}\sim\text{39歳基準人口)}
 \end{aligned}
 }{
 \begin{aligned}
 &6,396,000\text{人 (20}\sim\text{24歳基準人口)} + 6,738,000\text{人 (25}\sim\text{29歳基準人口)} \\
 &+ 7,081,000\text{人 (30}\sim\text{34歳基準人口)} + 7,423,000\text{人 (35}\sim\text{39歳基準人口)}
 \end{aligned}
 } \times 100$$

4. 年齢調整結果

(1) 20～30 歳代女性のやせの者の割合

※やせ

⇒BMI 値が 18.5 未満。

(BMI=体重 (kg) ÷身長 (m) ×身長 (m))

17.0%

(2) 20～64 歳男性の運動習慣者の割合

※1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。

38.9%

(3) 20～64 歳女性の運動習慣者の割合

※1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。

30.8%

(4) 65 歳以上の男性の運動習慣者の割合

※1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。

50.6%

(5) 65 歳以上の女性の運動習慣者の割合

※1 日 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続している者の割合。

50.4%

(6) 20～59 歳の男性及び女性のうち、睡眠で休養がとれている者の割合

※毎日の睡眠で休養が「十分とれている」又は「まあとれている」と回答した者の割合。

57.4%

(7) 60歳以上の男性及び女性のうち、睡眠で休養がとれている者の割合

※毎日の睡眠で休養が「十分とれている」又は「まあとれている」と回答した者の割合。

72.6%

(8) 20～59歳の男性及び女性のうち、睡眠時間が十分に確保できている者の割合

※睡眠時間が6～9時間。

61.7%

(9) 60歳以上の男性及び女性のうち、睡眠時間が十分に確保できている者の割合

※睡眠時間が6～8時間。

60.9%

(10) 50歳以上の男性及び女性のうち、咀嚼良好者の割合

※ものをかんで食えるときの状態が「何でもかんで食えることができる」と回答した者の割合。

71.3%